



Social Music Service based on
BLOCKCHAIN TECHNOLOGY

WHITEPAPER v0.46 – Nov. 2018

Table of Contents

Why SOMESING	3
Business model	10
Technology	17
Future Plan	21
Team & Others	25
The Roadmap	29
What Happen	35
Disclaimers	42

Why **somesing**?

Which App is Yours ?



Karaoke App Market

スマートデバイスの発展と通信網の環境改善により、伝統的なカラオケ文化がない国においてもアプリを容易に利用できる土台となった。現在、全世界で多様なカラオケアプリがサービスインされており、利用者数は約5億名以上と推測されている。

例)

S – App (北米会社のアプリ)：プレイストア・アップストアで 2 億D/L

E – App (韓国会社のアプリ)：プレイストア・アップストアで 8 0 0 万D/L

Singing is Consuming the Accompaniment(MR) ?



Singing is Creative Work!

従来、カラオケアプリは利用者が歌うための音源を提供する役割をしてきた。

しかし、無料利用の範囲は非常に制限的であり、特定機能を使うためには使用料を支払わなければならなかった。

利用者は自らが生み出した歌唱を通じてファンが生み出されたとしても、応援のメッセージを受けること以外には何も補償がなかった。

「歌を歌うことは大事な創作活動である」ということが見過ごされて来たからだ。

BIG Challenges

**SingLovers Pay All
SingLovers Get Nothing**

* SingLovers:歌を歌うことを愛し、歌うことが自分の価値と個性を表現する特別な創作活動だと思う人たち

SOMESING for SingLovers

歌を歌うことは人間の本能だ。

歌うことは個人の個性と価値を表現する大事な創作活動だ。

そのため、個人の創作物である歌唱は、世の中をより美しく価値があるものにしてくれる。

SOMESINGは**SingLovers**のために設計される。

誰でも好きな歌を自由に楽しめ、

歌というものを再創造させた創作活動に対して生産者が補償を受けられるように
ブロックチェーン技術を結合させる。

皆さんのが歌を楽しむコミュニティーの一員として一緒に参加し、

歌を歌う創作活動に対する正当な補償を受けられたら、

再創造される歌は爆発的に増加するはずだ。

お互いに音楽的な靈感を与えるミューズになるはずだ。

SOMESINGはすべての参加者たちを

積極的な生産者として

豊かな音楽を楽しむ世界に導いてくれるはずだ。

BIG Challenges : SingLovers Pay All

従来のカラオケアプリは伴奏音源の利用、運営・広報、プラットホーム運営など、すべての費用をSingLoversの利用料を通じて利益を得ることにより事業を運営している。

ビジネスシステムの新たなる進化 1

SingLovers Pay Nothing

全世界のSingLoversは
K-POPを含めた4万曲以上の歌を、また別のSingLoversと共に
365日、24時間、無料で歌うことができる。

 TJ communication (4万曲)

(音源制作社は追加予定)

BIG Challenges : SingLovers Get Nothing

コンテンツ生産者として利用者は固有の創作物である歌を生産したにもかかわらず、その歌が消費されているにもかかわらず、何の利益も得られていない。

ビジネスシステムの新たな進化2

Reward plan for SingLovers



SOMESINGエコシステムは
SingLoversが多様な方法（ファンダムのプレゼント、
サポート、多様なコラボレーションイベントの参加
及びコミュニティー活動）により、活動に対する
正当な補償を受けられるように設計されている。

SOMESINGでは
ブロックチェーン技術を通じてSinglloversとすべての
参加者に貢献度による補償を受けることができ、
どんなシステムからの介入もなしに自動で分配される。

How **SOMESING** work?

BUSINESS MODEL

サービスフロー



SOMESINGシステムの拡大



Paid Service

カラオケの有料サービスにおいては、約20%の利用者のみが継続して利用し、約80%は利用しなくなってしまう。

Free Service

無料サービスへの転換により、アクティブな利用者の増加だけではなく、すべての利用者たちも活性化できる。

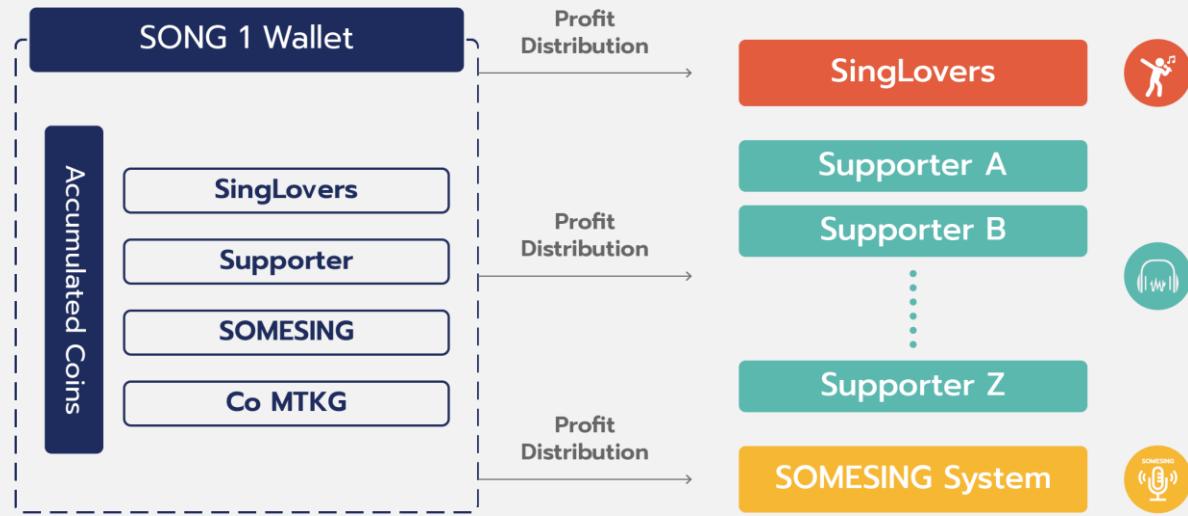
Participation & Promotion

すべての利用者たちは補償システムを通じて、より活発なバイラル、外部共有などの活動を活発化させる。

Expansion of User

これにより、SOMESINGは既存の利用者だけではなく、新規利用者が増加するため、利用者層を多様に拡大できる。

分散化されたシステム



制作されたコンテンツごとにウォレットを生成。
ウォレットに累積されたSSXを参加者の貢献度によって中央システムの介入なしに分配する。

- SOMESINGエコシステム内にSingLoversが生成した歌唱単位でブロックが形成され、このブロックがウォレット役割を果たす
- ブロックで形成された歌唱に対して、エコシステム内の参加者は多様な方法で寄与することが可能
- ブロックで形成された歌唱に論理的に実装された方式により、貢献者は自動的に補償を受ける
- ブロック内では、スマートコントラクトにより自動で貢献度による補償システムを提供することで、中央集権化されたシステムの介入なしに、分権化されたシステムを実現

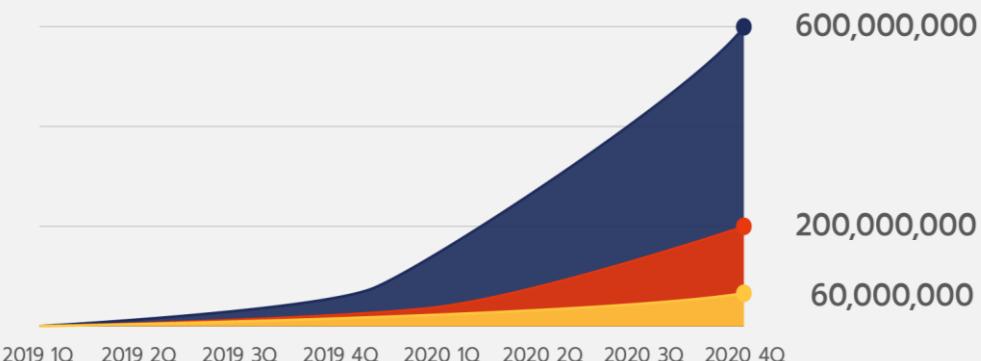
民衆的なガバナンス: 5%ルール



- SSXを保有した誰もが、SOMESINGエコシステムの運営と発展に対して自分の意見を提案することができる。
- その中で5%以上の同意を獲得した提案に対してSOMESING運営委員会は必ず検討意見を提示しなければならない。
- 一定期間の間、提示した意見は誰でも一覧することができ、提案の内容をSOMESING運営委員会がシステムに適用した場合、提案者に対して補償を提供する。
- この手続きを通じ、民主的なガバナンス体系を維持する。

累積加入者の予測

2020年12月
全世界 2億名のSingLovers



	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q
MAX	3m	15m	30m	60m	150m	300m	450m	600m
Regular	1m	5m	10m	20m	50m	100m	150m	200m
Min	0.3m	1.5m	3m	6m	15m	30m	45m	60m

グローバルカラオケアプリをリードしているS Appの累積加入者の数を基準にして基礎分析

- ロードマップ基準にしたグローバルへ音源供給を仮定
- Maxはレギュラーの3倍、Minはレギュラーの30%を仮定
- 活性ユーザーは全体加入者の10%を仮定

SOMESINGエコシステムの仮想サークル

各ステークホルダーは各自の意図を理解させるため、自発的にエコシステムに参加することにより、
参加者の増加及び活動増加が起こることで、好循環のエコシステムを形成する。

: 無料サービスの利用、歌を歌う面白さ、コミュニティー利益の共有、ミュージックマーケティング、コイン投資の価値増大、意思の反映など



What **somesing's** Different?

TECHNOLOGY

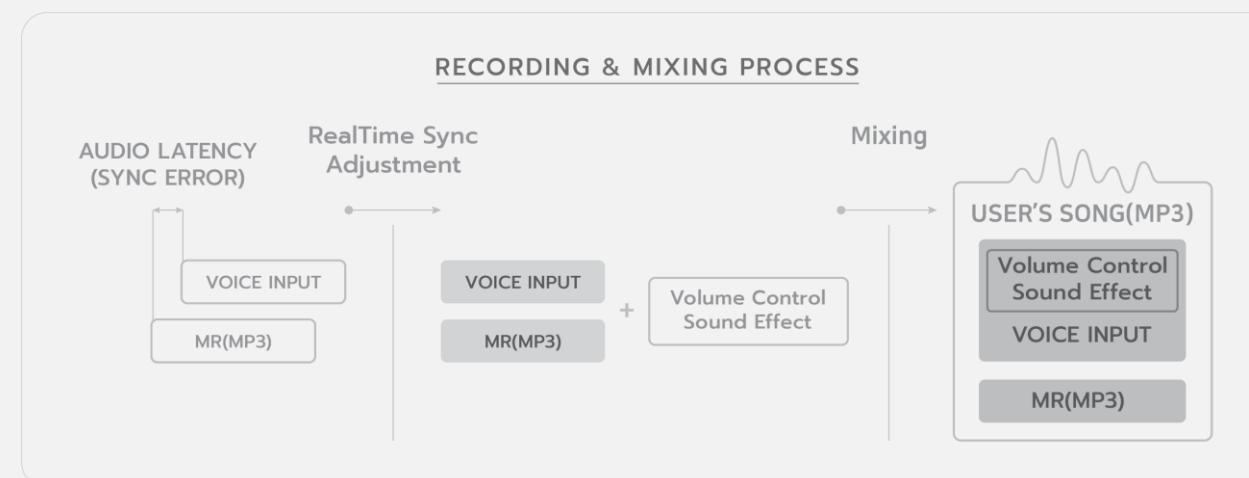
テクノロジーズ: 同期 & サウンドエフェクト

カラオケ伴奏キー調整

- 開始前、キーに合う伴奏キーを調整可能

同期、ボリュームそしてエフェクトコントロール

- 利用者の声の入力遅延をリアルタイムに調整
- 利用者の声、カラオケ伴奏に対するVOLUMEコントロール
- ECHO・REVERB・ROOM SIZEなどのエフェクトコントロール

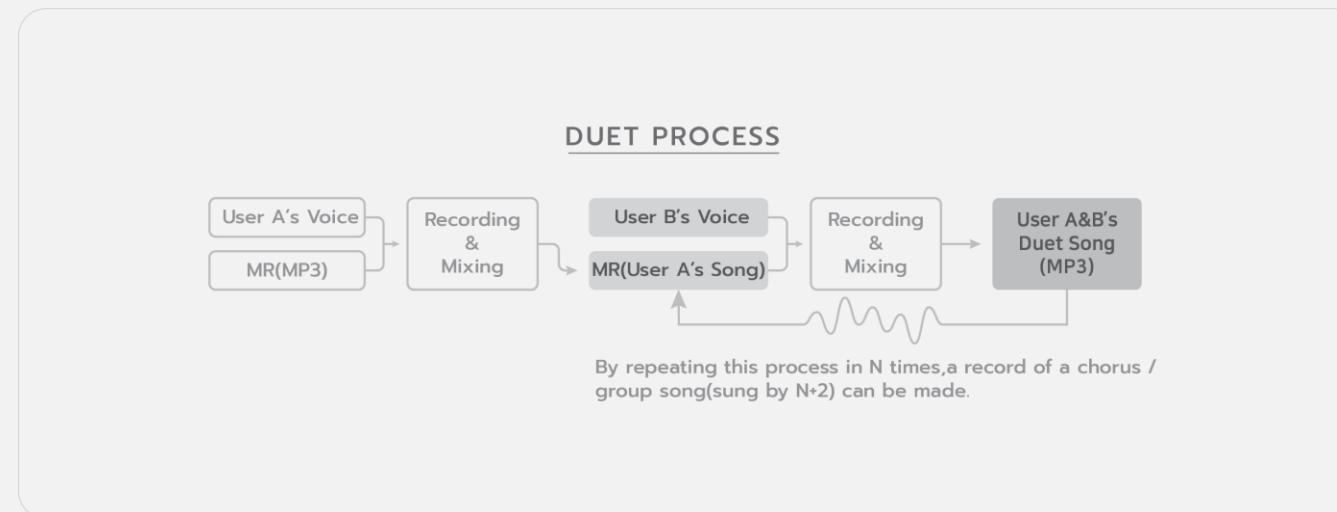


最上のクオリティーを提供するRECORDING & MIXINGプロセス実装利用者の便宜性及び満足度を向上

テクノロジーズ：デュエット

ユーザーパート編集

- 利用者自ら直接パートの編集が可能
- 1回作られたパート情報は再利用が可能
- 男女パート変更の時、パートを入れ替える機能を提供
- 同一曲から多様な形のデュエットコンテンツを生成可能
- 運営側でも新曲の提供外、別途パートの編集リソースの節約（人件費節減）が可能

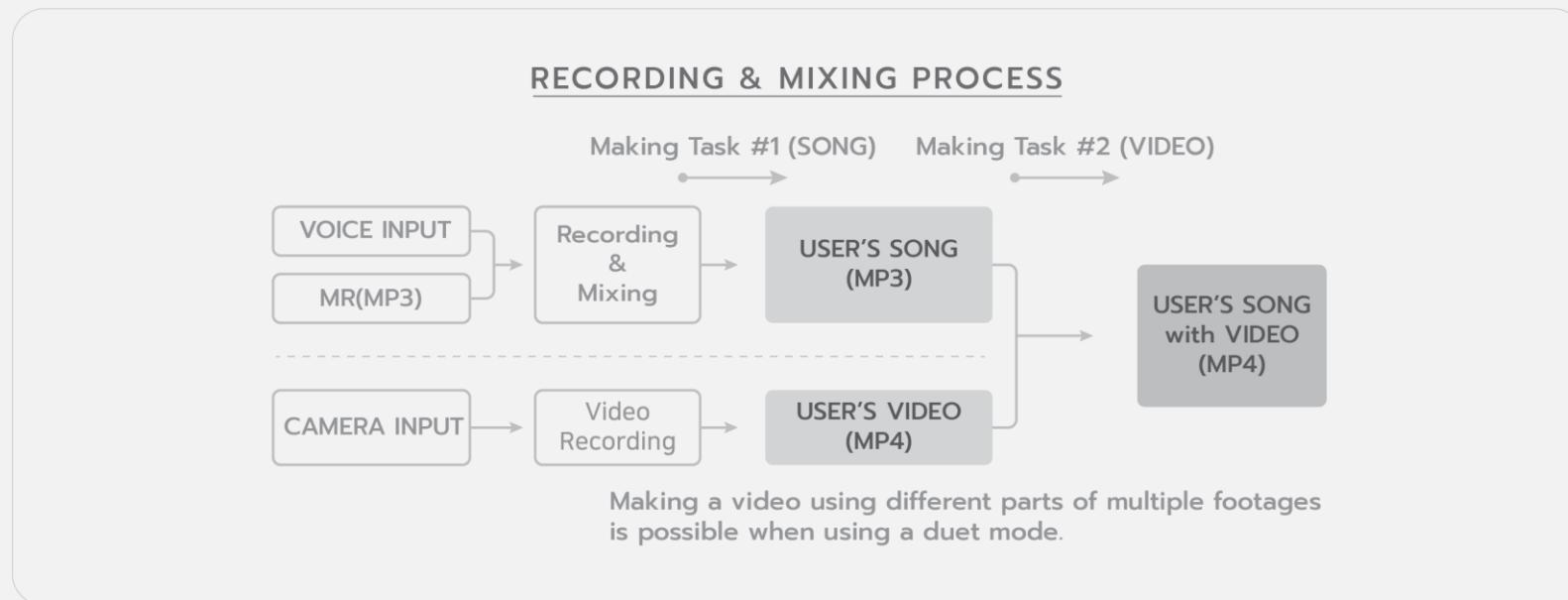


歌唱者のパートを編集できるようにしてRECORDING & MIXINGプロセスを再帰的に実現
他の利用者との交流を増やし、楽しさを最大限に

テクノロジーズ：ビデオ

CAMERA + SONGの同期実装を通じてビデオ提供

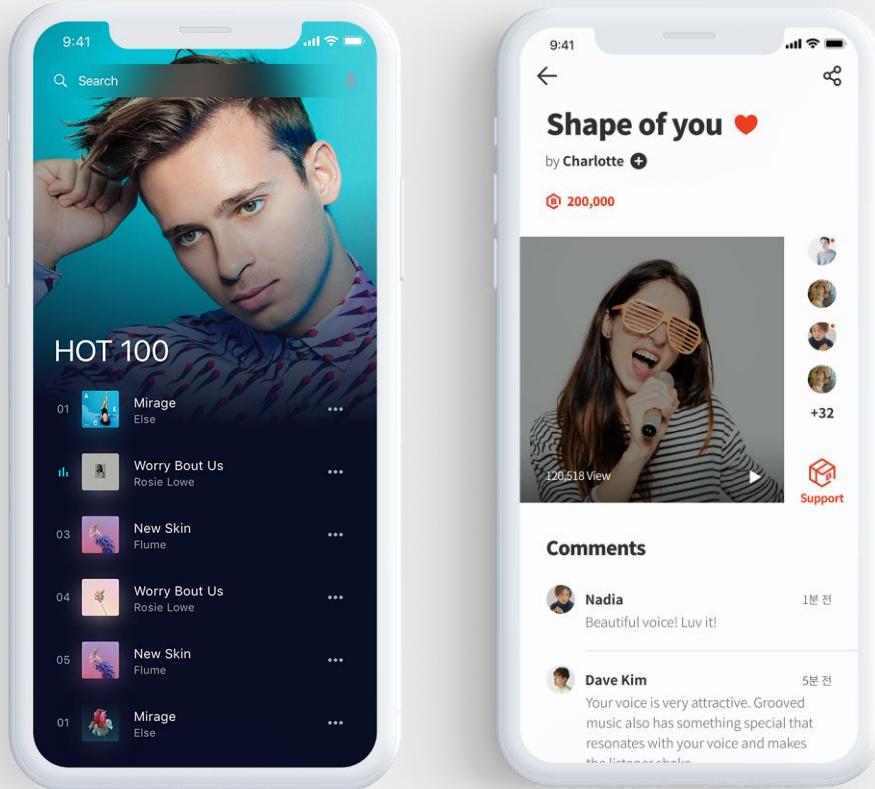
- MCN（マルチチャンネルネットワーク）機能の実装を通じて、多様な自己表現の窓口を提供



BIG PICTURES !

FUTURE PLAN

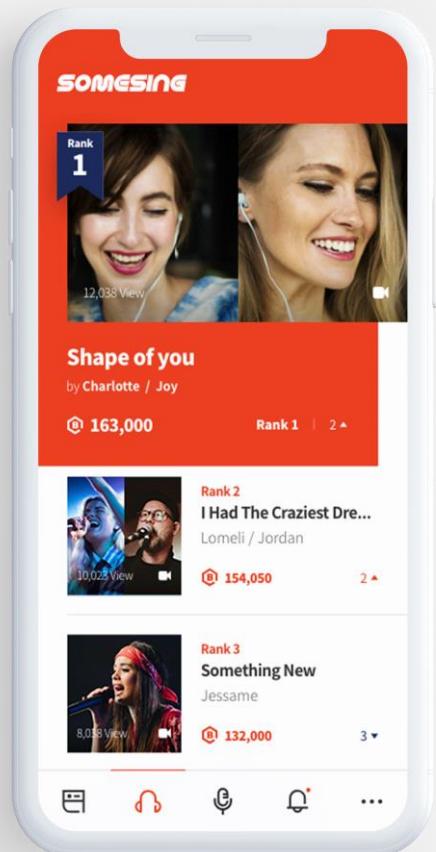
ストリーミングサービスとのコラボレーション



ミュージックストリーミングサービスとの相互連動を通じて「原曲視聴」と「歌唱」機能の転換使用を可能にし、豊かな音楽サービスの経験を提供する。

他にもSSXでSOMESING外部のサービスを共有したり、購買するようにすることにより、外部サービス利用者とSingLoversに対して統合を図る。

音楽産業とのコラボレーション

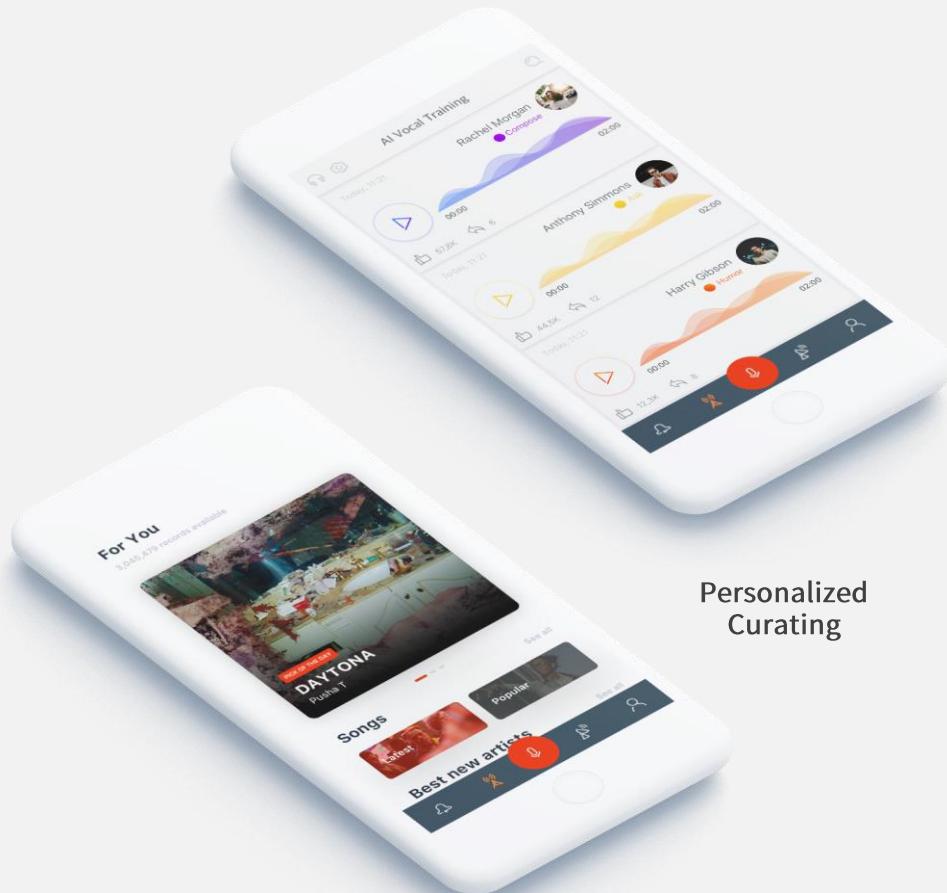


多様な収入源の開発及び スター探しのサポート

オフラインの芸能事務所及び多様な放送・芸能事業との提携を通じてSingLoversに多様な成功の機会を提供する。

芸能事務所及び放送局などにとっては、新人の大衆に対する人気の検証をSOMESINGから進めることにより、オンラインとオフラインのブリッジの役割を果たすことができる。

ブロックチェーン技術+AI技術=パーソナライズされたサービス



ビックデータ収集と対話型AI

SOMESINGに保存されたコンテンツはブロックチェーン内に保存されるが、生産者の決定により暗号化、復号化を選択できる。

: 選曲資料の分析・リスナーの選曲及び選好分析・リスナーのコメント分析・多様な形の人気及び順位分析、トークンの流れ、使用習慣分析など

Who Make it Possible ?

Team & Others

TEAM MEMBERS



Heuibae Kim
CEO & Founder

General Planning and Operation



Hyunkeun Yoon
COO

LG Fashion HR Manager



Kyle Kim
CSO

The Loop Consulting Director



Jaehoon Chang
CTO

Infraware R&D Team Leader



Heeseok Choi
CPDO

PENTABREED UI/UX DIRECTOR



Taehee Ryu
CBDO

EMC/Adobe Account Manager



Jiyeon Kim
CCO

Neomtel Business Manager



Daejin Moon
Global Director

MK EDU CEO



Junhee Han
Blockchain Developer

BitofGroup General Manager



Myungsu Lee
Japan Business Manager

HI Corp. Business Dev. Team



Kyungkeun Yoon
Senior Designer

Hongik-Univ. Master of Design



Kunhee Ko
Designer

IMAGINATION PLANT Designer



Bora Yeon
Communication Manager

Yellow mobile Coocha Marketing Team

ADVISORS



KJ Eee

Icon Foundation / Council Member



Hyun Oh

Deblock / CEO



Doug Ahn

Sekelter labs / COO



Heewon Choi

Pivotal Labs / Associate Director



Seokmyoung Kwon

TJ Communications / Director



Daniel Jin-Woo Lee

Insider / Partner & Country Manager



Fujisawa tatsuya

Sdtech / Director



Jay KIM

Makestar / CEO



Manhoon Kang

HAPPY TOGETHER e&c / CEO



Changkeun Lee

Keywallet / CEO



Mikyung Yoon

eMFORCE / CEO

PARTNERS



<https://www.iconloop.com>



<http://www.deblock.co.kr>



<https://www.skelterlabs.com>



<http://www.ziller.co.kr>



<https://www.makestar.co.kr>



<https://useinsider.com>



<https://www.keypair.co.kr>

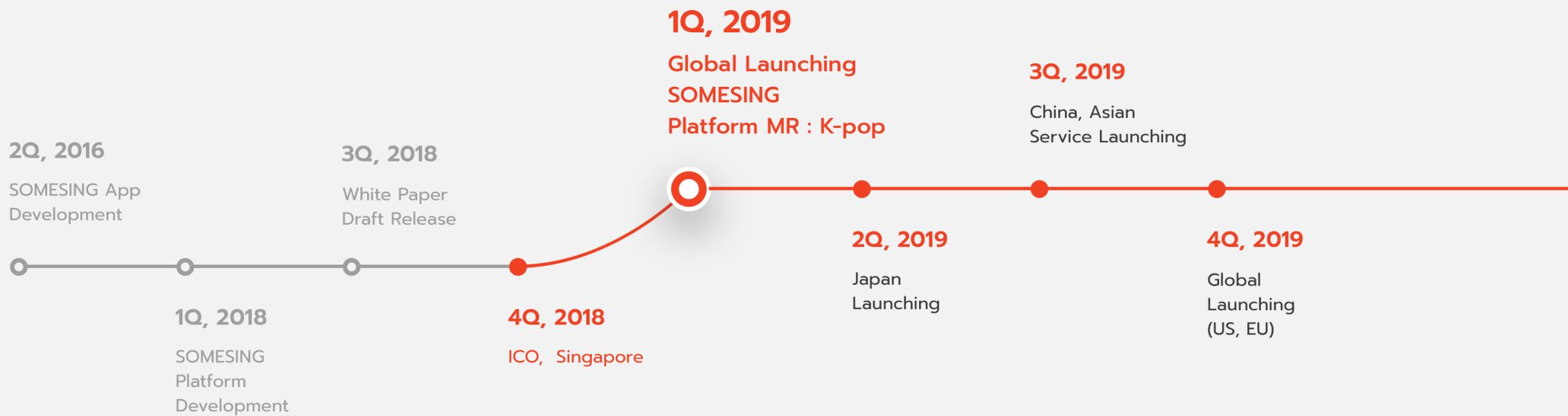


<http://www.emforce.co.kr>

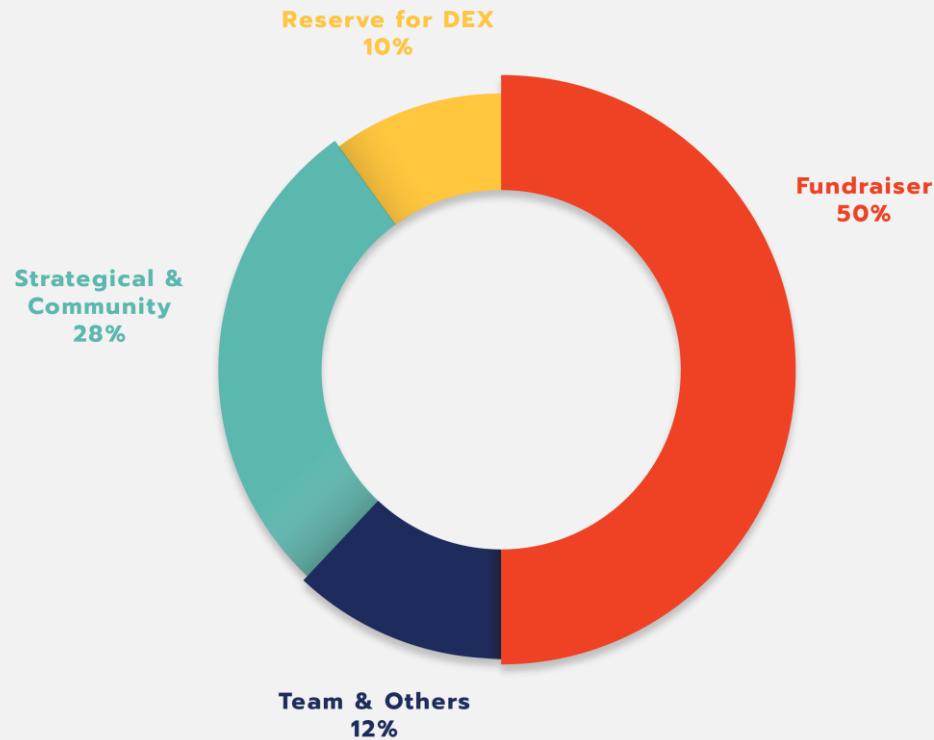
somesing x SSX

With ROADMAP

プロジェクトはすでに始まっています。



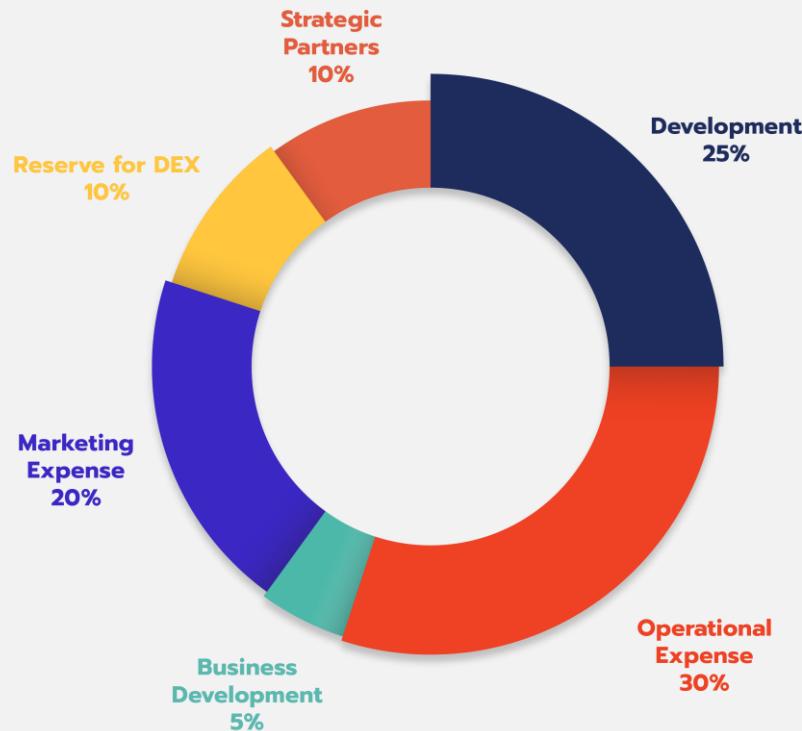
トークンアロケーション



すべてのステークホルダーたちがコミュニティービルダーとして共存

Token	Description
Token Name	SOMESING Exchange
Token Symbol	SSX
Token Platform	ICON
Token Cap	To be update
Token Price	To be update
Soft Cap	To be update
Hard Cap	To be update
Payment Accepted	ICX

プロシードアロケーション



早期のサービス安定に向けた合理的な資源配分

Token	Description
Development	SOMESING system Blockchain wallet and coin
OP & Exp	Operation Legal and accounting Tax and related matters
Biz. Dev	Oversea Biz development
Marketing exp.	Public Marketing
Dex	Reserve ICX for exchange

SOMESINGエコシステムの拡大

1. SOMESINGコインに対する需要分析

SOMESINGコインの需要は「コンテンツ生産者と需要者間の取引回数」と「コインの価格水準」に一番大きい影響を受ける。また、スポンサー、投資家もコインに対する需要を持っている。

したがって全体コインに対する需要は取引に対する需要(T)、価格水準(P)、コイン流通速度(V)と投資家需要(S)の影響を受ける。即ち、

$$M^d = Px(T/V + S)$$

M^d : コインに対する需要、P: 価格水準、T: 取引需要、V: 通貨流通速度、S: 投資需要

2. SOMESINGコインに対する供給分析

SOMESINGコインの経済の安定性を増大させるため、SOMESINGコインを供給する仕組み(Mechanism)を明確に規定することが必要。一般的な経済で通貨市場は実際通貨供給(M/P)が生産(Y)と利子率(i)に影響を受ける通貨需要が同じ時、バランスを保つことができる。

$$M/P = M^d(Y, i)$$

利子率の効果が無いSOMESINGコイン経済では、通貨供給を生産を考慮して直接的に管理できる。

SOMESINGコインの追加的な発行を通じて適切なインフレを発生させれば、SOMESINGを保有した経済主体に経済活動である取引の促進剤となり、経済を不安定にするデフレを防止することができる。

3. 通貨供給のための発行システム

新規通貨を供給する発行システムは需要と供給を適切な水準で成長させることを目指す。即ち、未来に発生するSOMESINGトークンに対する需要を満たすことができる水準にコイン供給を増加させることだ。

このような目標のために発行体系は次のようになる。

特定した時期tに価格水準(P_t)、取引需要(T_t)、通貨流通速度(V_t)、投資需要(S_t)から通貨需要は以下の通り。

$$M_t^d = P_t \times (T_t / V_t + S_t)$$

ここで通貨価値を考慮しなかった実質通貨需要(Real Demand)は $M_t^{rd} = T_t / V_t + S_t$ になる。

バランスを取るために、各時点から通貨供給は通貨需要とバランスを取らなければならない。

$$\begin{aligned} M_t^s &= M_t^d \\ M_t^s &= P_t \times M_t^{rd} \\ P_t &= M_t^s / M_t^{rd} \end{aligned}$$

インフレは時点間価格の変化で測定できる。

$$\text{インフレ} = (P_{t+1} - P_t) / P_t = P_{t+1} / P_{t-1}$$

したがって、

$$\begin{aligned} \text{インフレ} &= (M_{t+1}^s / M_{t+1}^{rd}) \times (M_t^{rd} / M_t^s) - 1 \\ &= (M_{t+1}^s / M_t^s) \times (M_t^{rd} / M_{t+1}^{rd}) - 1 \end{aligned}$$

即ち、

$$(M_{t+1}^s / M_t^s) = (1 + \text{Inflation rate}) \times (M_{t+1}^{rd} / M_t^{rd})$$

$$\text{通貨供給は: } M_{t+1}^s = (1 + \text{インフレ}) \times (M_{t+1}^{rd} / M_t^{rd}) \times M_t^s$$

ここで M_{t+1}^{rd} / M_t^{rd} は実質通貨需要の増加率と定義できる。

したがって万が一インフレ目標が一定の割合で固定されれば、次時期の通貨供給(M_{t+1}^s)は現在時期の通貨供給量(M_t^s)と実質通貨需要の増加率によって定まると言える。



2019 1Q

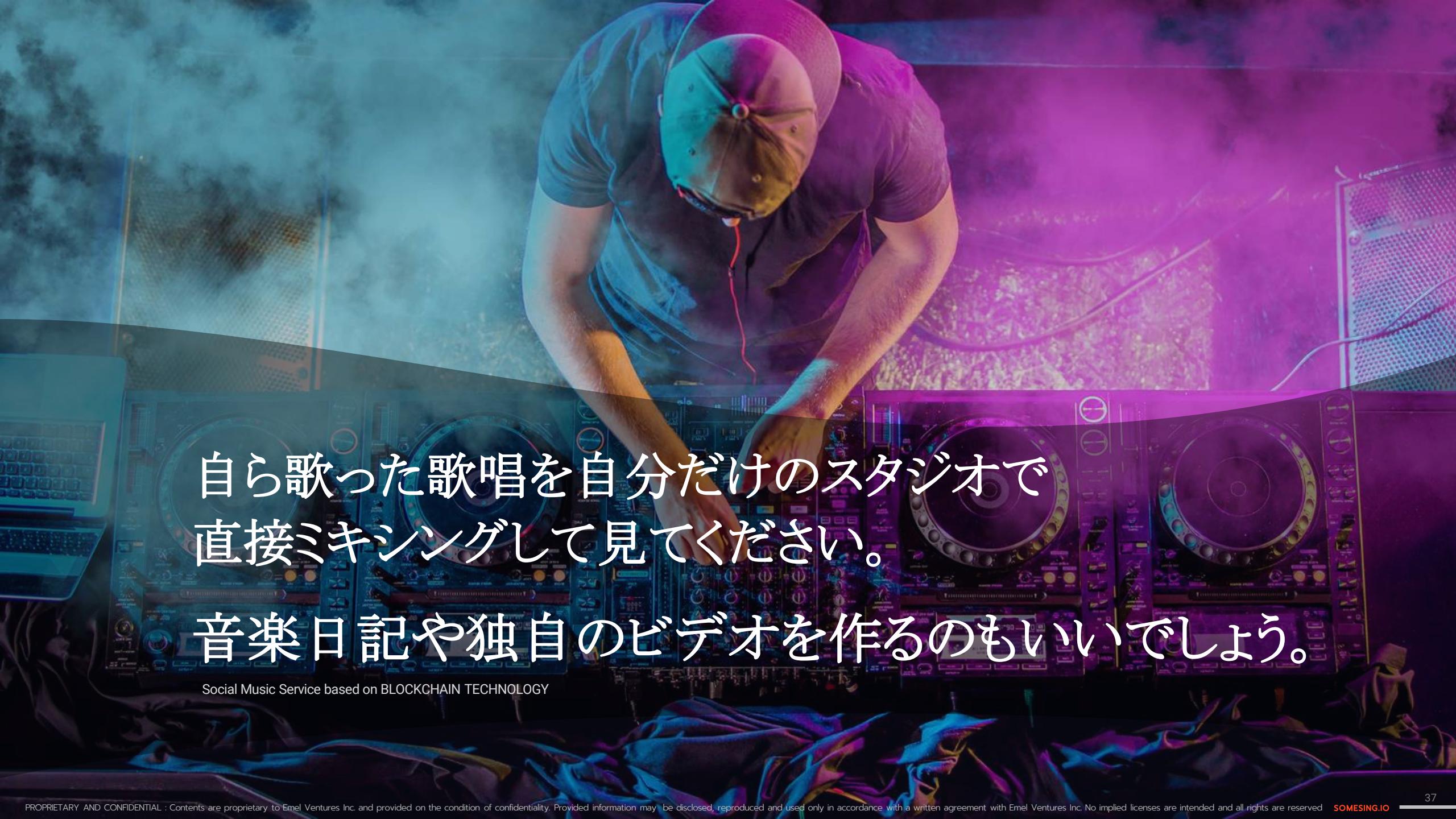
何が起こると思いますか。

A close-up profile shot of a woman with long brown hair, wearing large black over-ear headphones. She has her eyes closed and a peaceful expression, suggesting she is deeply immersed in the music. The background is dark and out of focus.

あなたが望んでいるその時間！
あなたが望んでいる場所で！

自由に歌を
歌うことができます。

Social Music Service based on BLOCKCHAIN TECHNOLOGY



自ら歌った歌唱を自分だけのスタジオで
直接ミキシングして見てください。
音楽日記や独自のビデオを作るのもいいでしょう。

Social Music Service based on BLOCKCHAIN TECHNOLOGY



あなたの歌唱を
共有して見てください。

全世界の人たちが
拍手と歓声を
送ってくれることでしょう。

Social Music Service based on BLOCKCHAIN TECHNOLOGY



あなたの歌が
魅力的なら
有名になり、
それに従う経済的な効果も
付いてくるんでしょう。

歌手はそもそもそういうことですから。

Social Music Service based on BLOCKCHAIN TECHNOLOGY

SOMESINGと共に多様な歌を楽しんで
SOMESINGと共にする生活は
日常をもっと自由に彩ります。

Social Music Service based on BLOCKCHAIN TECHNOLOGY

SOMESING SOCIAL MUSIC SERVICE

企画と開発そして運営まで約5年の時間を歌と共に過ごしてきました。

歌を愛する皆様、新しい世界にあなたを招待します。

誰かにとっては趣味だった歌...

夢だった歌...

人生の最高である歌...

未来を期待できる歌...

歌を愛するすべての人たちがもっと簡単に使うことができ、思う存分に歌える：歌を通じた一つのコミュニティー！

SingLoversのエコシステムを作ろうとしています。

歌を愛する人たちのためにSOMESINGという本格的なカラオケアプリを開発致しました。

最上の音質と多様なサウンド効果、安定化されたアプリを作りましたが、根本的に歌うことを望んでいる皆さんに無料でサービスを提供し、彼らが自分の声で新しい曲を創作できるようにするのには限りがありました。

これからSOMESINGは多様な機能を無料で提供し、歌を歌う利用者はコンテンツの生産者となり、

その歌を聞き共有する利用者も貢献者として活動するブロックチェーン技術を土台にしたサービスに転換します。

すべての主体がコミュニティーの一員として熱情を持って活動し、その活動に対する正当な補償を受けられる、

自分から歌を通じて受けたその満足感を享受できる音楽サービスを提供致します。

CEO

Heuibae Kim

免責条件

このホワイト・ペーパーの唯一の目的はSOMESINGエコシステム構築のため、
潜在的貢献者及びSOMESINGアプリの利用者に情報を提供することです。

このホワイト・ペーパーはどのような形の拘束力も持たず、誰には法的な義務を与えません。
このホワイト・ペーパーの目的はサービスの開発方針を概略的に説明するためのものであり、
契約のような形式には含まれません。

どんな資料、コードまたは機能を提供するのかについては、我々の義務ではなく、
投資者または購買決定者は自ら決定に対する責任を負わなければいけません。

SOMESINGエコシステムのサービス開始及び実装は規制の危険、利用者の参加、
ブロック・チェーン技術の採択及びプラットホームの持続的な開発などの様々な変動要素によって異なります。
このホワイト・ペーパーの情報はSOMESINGプロジェクトチームまたは関連部署がSOMESINGのエコシステムを開発したり、実装するために作ったものであり、どんな措置を取ることも要求できることに留意しなければなりません。

SOMESINGプロジェクトチームはいかなる状況でもホワイト・ペーパーに要約されたことと異なる、
SOMESINGエコシステムの実装を変更できる権限を保有します。

将来のプラットホームの利用者またはICOの参加者は本ホワイト・ペーパーから提供された情報に依存せず、
自ら危険性を見守った後に参加するのが望ましいです。